

評価シート（年度評価）

名古屋市音楽プラザの管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	共立・名古屋共立共同事業体		
主な業務内容	名古屋市音楽プラザの管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成28年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(3) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	・若手アーティストに発表の場を提供すべく、ピアノソロコンサートを追加実施
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	◎	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
利用者懇談会の意見を踏まえ、ワイヤレスマイクシステムを更新することで、施設利用者の利便性向上につながったと考えられる。 また、若手アーティストに発表の場を提供すべく、ピアノソロコンサートを追加実施し、参加者から高い満足度を得ることができた点が評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

施設の現状

音楽プラザ

施設の現状	施設概要							
	音楽その他の舞台芸術の練習の場を市民に提供することにより、芸術文化の振興に寄与するために設置された施設です。具体的には、合奏場やリハーサル室等施設の貸出を行っています。また、鑑賞機会及び発表機会を提供する主催事業を実施しています。							
	市の収支状況(千円)（3年度決算(見込)額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
	56,477	8,191	64,668	14,610	517	49,541	64,668	11,713
	特記事項							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	利用率(合奏場、大中リハーサル室の平均)		%	100.0	94.9	76.4	92.5	
	収支率		%	47.8	46.2	38.6	40.8	
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市音楽プラザにおける指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	共立・名古屋共立共同事業体				
主な業務内容	名古屋市音楽プラザの管理				
評価対象期間	平成 28 年 4 月～令和 4 年 3 月	指定管理期間	平成 28 年 4 月～令和 5 年 3 月		

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目		評価区分						特記事項
		平成 28 年 度	平成 29 年 度	平成 30 年 度	令和 元 年 度	令和 2 年 度	令和 3 年 度	
1 基本事項								
	(1) 平等利用	○	○	○	○	○	○	
	(2) 開館の実績	○	○	○	○	○	○	
	(3) 情報管理	○	○	○	○	○	○	
	(4) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
	(5) 法令等の遵守	○	○	○	○	○	○	
	(6) 事故・災害等への 対策・対応	○	○	○	○	○	○	
2 維持管理								
	(1) 建物・設備の保守 点検	○	○	○	○	○	○	
	(2) 警備業務	○	○	○	○	○	○	
	(3) 清掃業務	○	○	○	○	○	○	
	(4) 備品の管理	○	○	○	○	○	○	
3 サービス								・当初の計画以上の利用者サービスを実施(28, 29, 30) ・合奏場、大・中リハーサル室平均利用率 100%(29, 30) ・合奏場、大・中リハーサル室の利用率 100%（令和元年度 1 月末時点）(1) ・施設ガイドパンフレットを刷新(1) ・ホームページのリニューアルを実施(1) ・若手アーティストに発表の場を提供すべく、ピアノソロコンサートを追加実施(3)
	(1) 利用実績	○	◎	◎	◎	—	—	
	(2) 事業実施状況	◎	◎	◎	○	○	◎	
	(3) 広報・P R の実施	○	○	○	◎	○	○	
	(4) 接客態度	○	○	○	○	○	○	
	(5) 苦情・要望の把握・ 対応	○	○	○	○	○	○	
	(6) 利用者満足度	○	○	○	○	○	○	
4 経費等								
	(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○	
	(2) 収支状況	○	○	○	○	○	○	
	(3) 再委託	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 28 年度	指定管理者交代の初年度であったが、前指定管理者からの引継ぎ業務を適切に行い、4月1日からの業務に支障を生じさせなかった。 また、支払い方法の拡充や、初日受付時に部屋を分ける事により混雑を緩和、1階情報コーナーの整備を行い内容の充実をはかる等、積極的に利用者サービスの向上に努めた。 施設事業では、サロンコンサートや名フィルのリハーサル見学会等を行い利用者からの好評を得た。
平成 29 年度	大・中リハーサル室で利用率100%を達成、合奏場は100%を維持した。 運営面では、利用者からの要望を基に、経年劣化により音程の狂いが著しかったリハーサル室のアップライトピアノの更新や、1階エレベーターホールの案内表示板の追加貸出等、利用者サービスの向上に積極的に取り組んだ。 施設事業のアートマネジメント講座では、プロ・オーケストラの運営や演奏会開催までの流れを扱う等、名フィルの練習拠点である施設の特徴を活かした内容を実施した。
平成 30 年度	合奏場及び大・中リハーサル室の利用率は、前年度に引き続き 100%を維持した。 運営面では、初日受付日の窓口受付時間の改善や、エレベーターホールに利用者向けの伝言板を設置するなど、利用者の目線に立ったサービスの向上に努めた。また、市民会館と合同で発行している広報紙「にじいろ」は、コラム等の充実により「お知らせ」だけの広報から脱却し、読者から好評を得た。 施設事業では、新規の利用者を対象に、合奏場の見学や楽器等の試演が行える「合奏場オープンデー」を実施し、音楽プラザの更なる周知や利用の促進を図った。
令和元 年度	利用促進を図るため、施設ガイドパンフレットを見やすく刷新する、利用者・来場者それぞれが情報を得やすいようホームページをリニューアルする等の取組みを行った。この結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の1月末時点での合奏場及び大・中リハーサル室の利用率は、前年度に引き続き 100%を維持した。 危機管理面では、音楽プラザ内にある名フィル及び喫茶店事業者と合同で自衛消防訓練を実施し、非常時の連携や対応方法等について確認を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策として、3月の初日受付を控室から大・中リハーサル室に変更して実施するなど臨機応変に対応し、安心安

	全な施設運営に努めた。
令和 2 年度	飛沫防止パネルの貸し出しやサーキュレーターの追加配置等を実施し、利便性向上に繋げた。 「情報コーナー」における 4 回の企画更新や掲示板へ施設案内掲示を行う等、音楽関連情報の集約と発信に力を入れることができた。 施設事業では、ワークショップやコンサートの会場として、合奏場を利用する取り組みを実施。施設になじみのない市民に対して、音楽活動に関心をもってもらうきっかけとなった。 なお、利用実績については、新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 3 年度	利用者懇談会の意見を踏まえ、ワイヤレスマイクシステムを更新することで、施設利用者の利便性向上につながったと考えられる。 また、若手アーティストに発表の場を提供すべく、ピアノソロコンサートを追加実施し、参加者から高い満足度を得ることができた点が評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度と令和 3 年度は計画値に達しなかったものの、指定期間の前半は、非常に高い水準で利用率を維持した。

4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等

名フィルのリハーサル見学会、プロ・オーケストラの運営や演奏会開催までの流れを扱うアートマネジメント講座等、名フィルの練習拠点という施設の特徴を活かした内容を実施することで、参加者から好評を得た点が評価できる。